

製品名: CD55 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08418**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	CD55
別名	CD55; CR; DAF; Complement decay-accelerating factor; CD55
遺伝子 ID	1604.0
SwissProt ID	P08174
免疫原	抗血清はヒト CD55 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

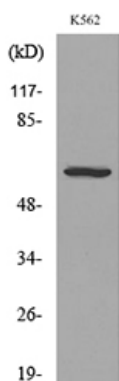
この遺伝子は、補体カスケードの調節に関与する糖タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質が補体タンパク質

に結合すると、それらの分解が促進され、それによってカスケードが阻害され、宿主細胞への損傷が防止されます。このタンパク質上に存在する抗原は、クロマー血液型システム (CROM) を構成します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。優勢な転写バリエーションは膜結合タンパク質をコードしますが、選択的スプライシングを受けた転写産物は可溶性タンパク質を生成する可能性があります。[RefSeq 提供、2014 年 7 月],ドメイン:最初の Sushi ドメイン (SCR1) は機能には必要ではありません。SCR2 と SCR4 は、SCR3 の活性部位に適切な立体構造を提供します。機能:このタンパク質は、C4 および c3 の活性化中に新生 C4b および C3b が局所的に生成されたときに、細胞表面のヒドロキシル基またはアミノ基と凝縮する C4b および C3b フラグメントを認識します。daf が細胞関連 C4b および C3b ポリペプチドと相互作用すると、C2 および因子 B から酵素活性のある C2a および Bb への変換を触媒する能力が阻害され、補体カスケードの増幅変換酵素である C4b2a および C3bBb の形成が阻害されます。、オンライン情報:血液型抗原遺伝子変異データベース,オンライン情報:CD55 変異 db,オンライン情報:崩壊促進因子エントリ,オンライン情報:正二十面体カプシド構造,多型:Cromer 血液型システムを担っています。DAF には、少なくとも 8 つの高頻度抗原 (Cr(a)、Tc(a)、Dr(a)、Es(a)、WES(b)、UMC、IFC、GUTI) と 3 つの低頻度抗原 (Tc(b)、Tc(c)、WES(a)) が含まれます。クロマー表現型である Dr(a-) および Inab では、それぞれ DAF の発現が低下しているか、発現が欠如しています。Dr(a-) 表現型の場合、エクソン 5 内の 1 塩基置換が 2 つの変化を引き起こします。1 つは単純なアミノ酸置換 (Leu-199) で、抗原変異の基盤となっています。もう 1 つは、この表現型における DAF の発現低下の根底にある選択的スプライシングです。Inab 表現型は非常にまれな表現型で、赤血球がクロマーシステムの抗原を全て欠失しています。Inab 表現型の人の赤血球は DAF が欠損していますが、これらの人が関連する血液学的異常やその他の異常を有することは知られていません。、PTM: Ser/Thr に富むドメインは高度に O 型グリコシル化されています。、類似性: 補体活性化受容体 (RCA) ファミリーに属します。、類似性: 4 つの Sushi (CCP/SCR) ドメインが含まれます。、サブユニット: モノマー (主要形態) と非ジスルフィド結合の共有結合ホモダイマー (マイナー形態)。コクサッキーウイルス A21、コクサッキーウイルス B1、B3、B5、ヒトエンテロウイルス 70、ヒトエコーウイルス 6、7、11、12、20、21 のカプシドタンパク質に結合し、これらのウイルスの受容体として機能します。、組織特異性: 血漿補体タンパク質と密接に接触しているすべての細胞型の細胞膜上に発現します。また、細胞外区画を覆う上皮細胞の表面にも存在し、分子の変異体は体液や細胞外マトリックスにも存在します。

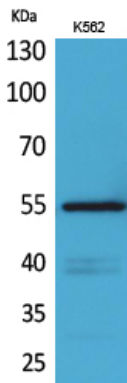
研究分野

補体および凝固カスケード、造血細胞系譜、ウイルス性心筋炎、

画像データ



CD55 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。



CD55 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。